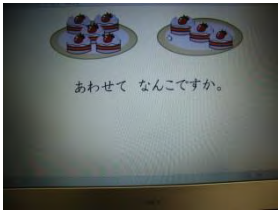




【教材・教具名】 算数のフラッシュコンテンツ集・数、時計	【教科・領域】 算数科	【対象】 小学部
【対象児童の実態】 ・慣れない雰囲気や初めての活動，思い通りに行かなかった場合など，自傷行為が見られ，情緒不安定になってしまう。		
【ねらい】 ・活動に興味を持ち，落ち着いて取り組むことができる。 （指導内容表：算数・数学科（１）数と計算—２段階，（４）実務—３段階）		
【教材・教具の使い方】 〔たし算の導入部分〕 ・テレビにケーキを映し出し，場面について話し合うことにより，ケーキの数を求めることについての意識を高める。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> 〔時計の読み方〕 ・テレビに時計を映し出し，何時か質問することにより，時計を読み取ることについての意識を高める。 <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;">  </div> 【工夫点】 ・授業中，下を向いたり奇声を上げることが多いが，特に導入部分でテレビに時計やケーキなどの興味のある物を写すことで，テレビの方を見ることが多くなり，算数の問題にも取り組みやすいように工夫した。 ・テレビを使うことで他の児童の姿勢も良くなり，集中できるように工夫した。		
【効果（○）・改善点（●）】 ○大型テレビを使用したので見やすく，画面に注目できた。また，画面に時計やケーキなどの興味のある物を写すことにより，集中して課題に取り組むことができた。 ●問題点としては，アプリが必要で，学校のPCにダウンロードできない。（セキュリティの問題で）		

【教材・教具名】 動くドレミ譜	【教科・領域】 音楽（ICT活用）	【対象】 中学部
--------------------	----------------------	-------------

【対象生徒の実態】
 中学部の生徒たちは音楽に合わせてダンスをしたり、演奏をするのが好きである。しかし、中には大きな音が苦手だったり、活動に見通しがもてずに授業の途中で退席してしまう生徒も見られる。学部合同の授業で様々な実態の生徒たちが集中して取り組むことができるような授業づくりが必要と考えられる。

【ねらい】
 ・ドレミ譜に合わせて正確にハンドベルを鳴らすことができる。
 ・見通しをもって授業に参加することができる。
 （指導内容表：音楽家（3）器楽—2段階）

○教材・教具の使い方

・授業の流れを表示する

・左から順に点滅して消えていく仕組みになっています。

あると便利！
ワイヤレスプレゼンター

練習の終わりに演奏が上手にできたかどうかの判定を行う。
練習の途中に不安定になる生徒にも、「合格できるように頑張ろう！」と声がけすると立ち直ることもあった。

○工夫点

- ・ドレミ譜はハンドベルの色と同じ色にした。また、文字は黒にしてはっきりと見えるようにした。
- ・鳴らす音は点滅し、その後は消えるようにすることで演奏しているところが視覚的に分かるようにした。
- ・ベルの音も挿入し、ドレミ譜の点滅と同時に音も鳴るようにした。

○効果・改善点

○生徒は集中してモニターを見ていた。また、それに合わせて演奏することができた。

○生徒を支援する多くの先生方にも見てもらったことで、授業では、よりスムーズに提示できるようになった。

○演奏後の可否の結果で、合格の判定が出るとうれしそうに喜ぶ様子が見られた。

●ドレミ譜のアニメーションを、更にメリハリのある動きになるように改善していきたい。

【教材・教具名】 「music online」「モジルート」 「hiragana」(iPad アプリ)	【教科・領域】 自立活動	【対象】 高等部
【対象生徒の実態】 ・ 自閉症。教師の促しで「お願いします」など要求を簡単な言葉で伝えることができる。指示理解は視覚的支援を同時に行うと理解しやすい。 ・ テレビやラジカセなどの操作への興味関心が高く、正確に操作できる。車、バイクへの関心も高い。		
【ねらい】 ・ 興味関心の高いタブレットを使用することで、学習への意欲を高める。 ・ 好きな音楽を聴いて歌う活動を通して、自分から声を出したり、音楽を聴きたいという意志を表出したりする場面を増やす。 ・ 文字や数字をなぞる学習を通して、筆順や文字の形を覚える。 (指導内容表：国語科(2)話す—2段階、算数・数学科(1)数と計算—3段階)		
【教材・教具の使い方】 ・ you tube のストリーミングアプリ「music online」を使用。好きな曲をプレイリストに入れておき、自分で曲を選んで再生できる。 ・ 「モジルート」。乗り物(スタート地点)と旗(ゴール地点)の間に点線が引かれており、そこをなぞると道ができて乗り物が走り出すようになっている。 ・ 「hiragana」。読む・書く・聞くができるひらがな学習アプリ。		
【工夫点】 ・ 遊び感覚で数字の形を覚えることができるように、生徒が好きな乗り物をタブレット上で操作する「モジルート」を使用し、自ら意欲的に学習に取り組めるよう工夫した。 ・ 「hiragana」は、文字を意識しながら書くことができたが、途中でやめようとしたり、音楽を聞きたいという仕草を見せたりしていた。そこで、「モジルート」への興味関心の高さと、「hiragana」の実用性の高さのどちらも生かし、併用して使うことで文字の学習を効果的に進めることができるように工夫した。		
【効果(○)・改善点(●)】 ○タブレットを使用することで、意欲的に文字の学習に取り組むことができた。 ○スマホやタブレットを指さしたり歌ったりして、音楽を聴きたいことをアピール(意志の表出)するようになった。また、使い方に慣れ、好きな曲をプレイリストから選んで聴いたり、歌ったりすることができるようになった。 ●タブレットだけで学習を進めるのではなく、学習の振り返りができるように、プリントなども使って、積み重ねていくことも必要だと感じた。		

【教材・教具名】 お助けフォン	【教科・領域】 日常生活の指導	【対象】 高等部
<p>【対象生徒の実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活において身辺処理は自立しており、やりとりができる。教師や友達との関わりを楽しめるようになってきて、集団で生活するルールも守れるようになってきた。 ・教師の言葉掛けで行動ができないことがあり、意にそぐわないことを指摘されると、自傷行為や他傷行為に及ぶこともある。 		
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が、何をしなければならないのかを理解し、行動できるようにする。 ・見通しをもって行動することで、他傷、自傷行為を少なくしていく。 <p style="text-align: center;">(指導内容表：生活科 役割－3段階、きまり－2段階、日課・予定－3段階)</p>		
<p>【教材・教具の使い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の言葉掛けで行動に移せないときはスマホのメモ機能を使い行動を促していく。 ・朝の連絡帳に一日の予定を記入したり、黒板に書いてある予定を読んだりすることで一日の予定は理解できているが、自分の興味のあることや疲れているときに言葉掛けで指示を聞けないことがあるので、そのときに活用をしていく。 <div data-bbox="199 1093 742 1317" style="text-align: center;"> </div> <p>【工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンやタブレットの手書きメモのアプリを使い、本人が視覚的に見て一目で理解できるようにした。 ・ホワイトボードを使うより、手軽に気軽に使え、携帯できる媒体を利用するようにした。 ・親しみ感や興味をもてるようなもの（本人もタブレットは自宅で使用）を使用するようにした。 		
<p>【効果（○）・改善点（●）】</p> <p>○言葉掛けで行動できないとき、画面をみて教師の言うことを理解でき、行動することができた。</p> <p>○媒体（スマホ）の大きさが携帯できる大きさなので場所を選ばず使用することができた。</p>		